

新型コロナウイルス感染症が疑われる場合の対応

～新型コロナウイルス感染症についての相談、検査や治療の流れ～

少なくとも、以下のいずれかに該当する場合はすぐに御相談ください。
(これらに該当しなくても相談可)

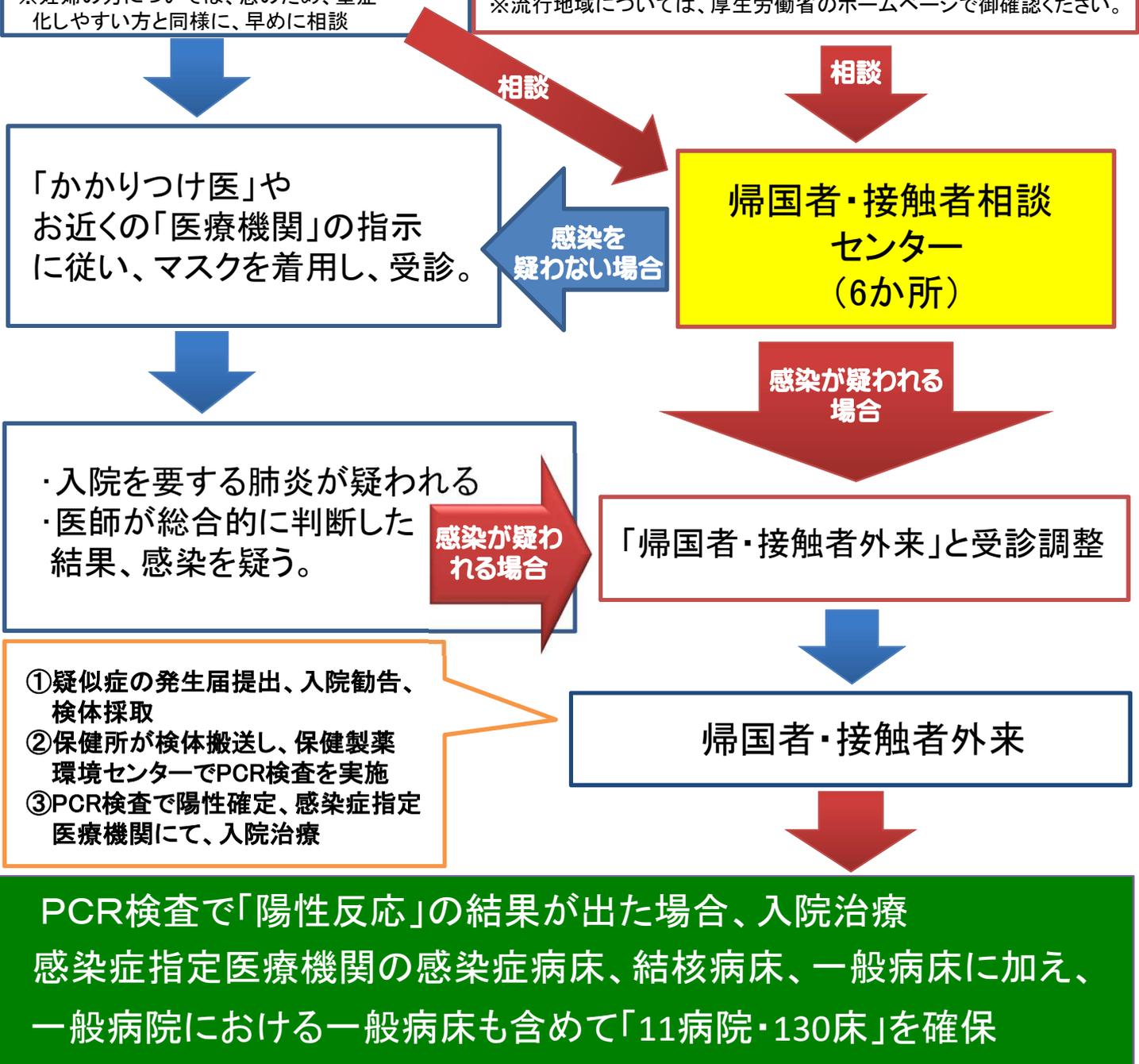
- ・息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状のいずれかがある。
- ・重症化しやすい方(高齢者、基礎疾患のある方等)で、比較的軽い風邪症状がある。
- ・上記以外で、比較的軽い風邪症状が続く。(症状が4日以上続く場合は必ず相談)

※妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに相談

【検査対象者】

- ①発熱(37.5度以上)または呼吸器症状 かつ 新型コロナウイルス感染症であることが確定していた者と濃厚接触がある。
- ②発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 発症二週間以内に、流行地域に渡航又は居住していた又は流行地域に渡航又は居住していた者と濃厚接触歴がある。
- ③発熱(37.5度以上)かつ呼吸器症状 かつ 入院を要する肺炎が疑われる。
- ④医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う。

※流行地域については、厚生労働省のホームページで御確認ください。



- ①疑似症の発生届提出、入院勧告、検体採取
- ②保健所が検体搬送し、保健製薬環境センターでPCR検査を実施
- ③PCR検査で陽性確定、感染症指定医療機関にて、入院治療

PCR検査で「陽性反応」の結果が出た場合、入院治療
感染症指定医療機関の感染症病床、結核病床、一般病床に加え、
一般病院における一般病床も含めて「11病院・130床」を確保